FERRIS UNIVERSITY

2025 年度 海外現地実習（イタリア） 参加レポート

国際交流学部 国際交流学科 ３年

研修に参加した理由や目的

私はもともとイタリアの世界遺産や歴史・文化に興味があり、実際に現地を訪れてその魅力を体験してみたいと考えていました。また、イタリアは食文化や農業が豊かな国としても知られており、日本との違いを自分の目で見て学びたいという思いがありました。特に、農業と観光を結びつけたアグリツーリズモという取り組みに関心を持ち、地域の農業や食文化がどのように観光と結びついているのかを知りたいと思い、日本にどう活かせるか考えたいと思いました。この研修を通して、教室で学ぶだけでは得られない現地での体験や気づきを得るとともに、日本の地域や農業のあり方についても新しい視点から考えることを目的として参加しました。

研修を通じて経験したこと・気づいたこと・学んだこと

今回の研修では、イタリアの世界遺産だけでなくアグリツーリズモとはどのようなものなのか実際に感じられました。イタリアでは農業と観光が結びついており、農家が宿泊や食事、農業体験などを提供することで地域の魅力を発信していることを知りました。特に印象に残ったのは、人々がとても温かく、誰もが地元で採れた食材を大切にし、農家の方々はそれを観光資源として活かしている点です。地域の食文化や自然環境がそのまま観光の魅力となっていることに気づきました。また、日本ではあまり身近ではない農業体験や地域との関わりが、イタリアでは観光の中で自然に取り入れられていることを知り、地域資源の活かし方について多くの学びを得ることができました。

今後の目標や研修参加を検討している方へのアドバイス

今回の研修を通して、農業や地域文化の魅力を観光と結びつけることの重要性を学びました。日本ではイタリアと同じ形でアグリツーリズモを行うことは難しい部分もありますが、地域のイベントや直売所、農業体験などを通して、農業に触れる機会を増やすことはできるのではないかと感じました。今後はフルーツ狩りや直売所などに実際に足を運び、地域の農業や食文化に触れる体験をしてみたいと考えています。

また、これから研修への参加を考えている方には、事前にその国の文化や歴史について調べておくことをおすすめします。そうすることで、現地での体験がより深い学びにつながると思います。

FERRIS UNIVERSITY













